

「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

市町村名	名張市	開催場所	つつじが丘公民館
開催日	9月28日（日）	開催時間	19：30～21：20 （1時間50分）
参加者数	9名		
説明者	名張市長、企画財政部長、 秘書室長、企画財政政策室長 総合企画室長 他	【備考】	

1．開会（司会）【19：30】

2．あいさつ

・ 地区代表区長幹事

・ 市長【19：35～19：50】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【19：55～20：20】

・ 質疑【20：20～21：20】

Q（参加者）つつじが丘はいろいろな問題を抱えている。

社会福祉協議会で、災害時に障害者をどう助ければよいかという重点目標を掲げている。市社協の文書はよいことを書いているが、実際の対応となると、プライバシーの関係で障害者についての情報は教えられないという。消防署には申請しており、行政が対応するということだが、少なくとも社協の会長なりにはそういった事情を説明すべき。

空き地の草刈について、条例はあるが罰則規定がない。罰則を設けないと条例も有効に働かず意味をなさない。

汚水管がよく吹き上げ、原因は特定できないが、空き地の柵から流れてくるものが多いようである。業者と話し合いもしているが、1回公共柵をあけて掘り返すと費用が60万円かかり、その費用を自治会が負担している。柵の管理は地主の責任だが、地主が家を建てるまで、空き地の柵には蓋をしてもらいたい。

歩道の幅が狭く、車椅子では通れないところが多い。まちづくり委員会でも地域振興チームと協働で取り組んでおり、白線を引きなおし、片方の道幅を狭めれば2mの歩道ができるということところまでは出前トークで確認している。

14箇所ある公園が利用されていない。もっと利用してもらえるよう公園をきれいにしていこうという取り組みをしている。公園の管理のため、水道を設置してもらいたい。

犬、猫の問題。犬は法律の規制があるが、猫はほとんどなく、トラブルが多くこま

っている。

国津から名張に出る旧道（旧国津箕曲線）を活用し、ウォーキング道路にしたい。

A（市長） 災害対策については、防犯も含めた条例をつくるための準備をしています。条例ができてから、各地域の組織づくりを進め、既に組織のできている地区では実践をお願いしたいと考えています。その中で、障害者の対策についてはプライバシーなどデリケートな問題を含んでいますので勉強させていただきます。

については室長からお答えします。

歩道については、今の規格は最低 3m ですが、旧の規格は非常に歩道が狭くなっています。歩道の問題は重要ですので、個別具体的に勉強させていただきます。

今、公有財産の活用を検討しています。その中で、例えばこの公園は運動公園として活用するために水道を設置するというようなことも盛り込んでいきたいと考えています。14 箇所すべてに設置させていただくというわけにはいきませんが、公園を活用いただくための整備を進めていきたいと思えます。

なかなか難しい問題。勉強させていただきたいと思えます。

ウォーキング道路については、地域計画の中に入れていただきたい。スロータウン、健康づくりの観点からもいい計画であり、PR、危険個所の整備等を協働でさせていただきたいと思えます。

A（総合企画室長） 罰則を設ける場合、それが本当に罰則に値するかということを検察庁と協議しなければなりません。消防や生活環境室で調査していますが、地主すらわからないケースもあります。罰則となると、何 cm 以上で取り締まるという基準を決めるのも難しく、告発してそのたびに警察が動いてくれるかどうかという問題もあり、現実問題として技術的に難しいと思われます。

基本的には個人の管理の問題ですが、最低限そうということが明らかな場合は、なおしていただけるかどうかはわかりませんが、市の担当から呼びかけを行うことは可能だと思えます。

A（企画財政政策室長） 障害者の名簿等の提供について、区長幹事会で地域福祉計画の説明をさせていただいたときにも同じご指摘をいただいています。地域福祉計画を推進する上でのひとつの大きなテーマとも捉えており、個人情報保護条例との兼ね合いもありますが、整理検討していきたいと考えています。

A（企画財政部長） 必要性はわかりますが、防災弱者のかたについては、現時点では本人から地区のほうにお申し出いただかない限りは、市から提供させていただくことは無理です。

Q（参加者）そのことはよくわかっているのですが、対象者を募集し、本人から申し出があった人を助けていく仕組みしかないと考えている。無理を言うつもりはないが、せめてそういった事情を団体の長には説明すべき。その説明すらなかった。

A（企画財政政策室長） どういった仕組みにしていくかということも大きなテーマですので、検討し、ご説明します。

A（企画財政部長） 使用されていない公園の整備をされるということですが、今までの管理はどうなっていたのでしょうか。

Q（参加者） 年 2 回、市で草刈をしてもらっていただけ。利用されていない公園を憩いの場にするため、地域づくり委員会の事業として、とりあえず 2 つの公園の整備をする計画（花いっぱい運動）。園芸福祉の経験者にも要請している。

Q (参加者) 公園活性化事業として進めているが、継続性が必要。公園の砂場の砂を子どもたちを通じて購入してもらおうといったことも考えている。まず南北集会所の近くの公園2つをモデルに整備し(集会所の水が使えるので)、14箇所すべて違った公園にしていこうと考えている。

A (市長) それがうまくいけば、すばらしい3世代交流の場になると思います。

Q (参加者) 2015年のイメージはわかったが、3年ごとの計画というのは、外的要因などを考えると3年という期間での見直しで間に合うのか?13年度に計画を立て、大きな修正をするということだが、問題の原因を突き止め、解決策として出されたものと考えていいのか?

民間の経営手法を取り入れる。職員が問題意識を持つために、競争意識を持たせる。業績を上げている職員にはもっと仕事をしてもらい、業績の上げられない職員は期限付きで減らすというような人的活性化ができれば、いい方向に業績が上がる。今年から導入された室制度は、京セラの蜂の巣手法だと思う。

A (市長) この総合計画は問題を避けるためではなく、問題を打ち破るためにつくったものです。税の減収、人口の減少などが大きなテーマ。市民アンケートでは、名張市に住み続けたいとするかたが80%を超えており、名張に愛着、誇りをもっておられるかたがたを裏切らないように、また市外のかたにも名張市に住みたいと思えるようなまちづくりのための改革であり、計画づくりであると思っています。

これから暮らしやすさという点を強調していかなければならないと考えています。雇用という点については、生産工場を増やすことには無理がありますが、これまでの傾向を見てみると、保健医療、福祉、情報、教育などの分野の雇用が高まっており、こういった面を強調し整備していきたいと考えています。

民間の経営手法については、これから自治体が勝ち抜いていくために必要です。ニューパブリックマネジメントと言われていますが、費用対効果などを検証して取り入れていきたいと考えています。

室制度については、責任の所在、誰の実績かということを知りやすくするため、施策別の室にしました。業績を上げている職員にもっと仕事をもらおうということについては、自然にそうなります。職員の意識改革もだんだん進んできていますが、さらに研修などをしていきたいと思っています。

Q (参加者) 職員を外部研修に派遣し、戻ってきたら早くそのセクションに異動させ、リターンを早くさせることが必要では?

A (市長) 厚生省、県、民間などに職員を派遣し、県、民間からは職員として派遣してもらっています。その中で、スペシャリストの養成ということも必要だと考えています。県のRDFの事故のように専門の職員がいなかったため業者まかせになっていたというようなことは絶対に避けなければいけないと考えています。

Q (参加者) 失礼かと思うが、原文を読み上げながらの説明ではなく、経緯の説明をしていただきたい。

実施計画にあたって、財政計画もあわせて公表してほしい。

各地域でまちづくりを進めており、まちづくり委員会でもいろいろな検討をしてい

ます。ともに継続して進めていくということも計画に含めていってほしい。

A(市長) 基本計画があって、3年間の実施計画があります。実施計画では、今までのようなローリング方式ではなく、きちんとした財政計画を立てていきます。

地域別のまちづくりは当然ながら、その地区の団体が中心になって進めていただきます。

A(総合企画室長) 経過についてはかなりの過程を踏まえており、言えばきりがありませんが、端的に言うと、右肩下がりの社会状況の中で名張市が持続可能な発展をしていくためには何が鍵になるかということです。名張の特性である「住みよい暮らし」「暮らしやすさ」という魅力を深めていく必要があると思います。また、「人と自然と文化」どこにでもあると言われるかもしれませんが、名張ほど人材が豊富で、住宅地のすぐそばに自然があるまちはありません。文化についても、昔から続いてきた文化もあり、公民館活動なども大変さかんです。そういった名張らしさを生かしながら暮らしのまちとしての魅力を深めていこうと考えています。いずれにしても、あれかこれかの選択を厳しく迫られます。従前の計画は今に比べると総花的で、新しい計画はもっと絞り込んだ内容になっています。また、改革なしには絵に描いたもちになってしまいます。もうひとつは、役所のしくみ、行政のしくみも変わっていく、例えば今まではかなりの部分を行政が担ってきましたが、長期的には職員数を3分の2ぐらいのコンパクトな行政にして、その部分を民間、市民の皆さんに担っていただくというようなことです。本当に長い過程で議論をしてきましたが、基本的にはそういった議論を重ねてきました。

Q(参加者) まず住民の意識改革が必要。こういった説明会の日程が知らされているのに、集まった人がこれだけという状況にがっかりした。集まった人間が粘り強く広げていかなければいけないと思う。

コミュニティーバスの検討会を来月立ち上げ、来年モデル地区で実施すると聞いている。以前から要望しているが、何としても100円バスを実施してほしい。

A(市長) つつじが丘は住民の自治意識が高い地区だと思います。

コミュニティーバスについては担当に勉強させており、よそにはない画期的なものにしたいと考えています。

5. 閉会

パブリックコメントで、ご意見をお寄せいただきまようによりしくお願いします。(司会)